

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスうんどう広場Tomorrow		公表日		令和8年3月1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		<input type="radio"/>	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>		子どもの人数によって、配置人数等の調整をしています。	基準人員は満たしているので、今後は職員のスキルアップに努めます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		視覚的な補助を用いるなど事業所内の構造化に努めています。情報伝達についても筆談やジェスチャー等を活用し、配慮をしています。	引き続き、子どもたちや分かりやすく、安心して過ごせる環境を目指し、適切な配慮を行っています。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		<input type="radio"/>		職員一人ひとりが生活空間の清掃等を行っています。また、子どもの活動に合わせて、活動場所を工夫しています。	引き続き、環境整備に努めます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			<input type="radio"/>	建物構造上、個室がないのですが、個別な空間が必要な子どもがいた場合、他の子どもたちにも協力してもらいながら、できる限り空間の配慮をしています。	引き続き、環境整備に努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>		スケジュール確認時やその他業務を行う上で気になる点が出た際には、その都度職員間で話し合いをするようにしています。	引き続き、職員全体で業務改善の意識が持てるように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		保護者の方からの評価や意見について、職員間で話し合い、改善につなげています。	保護者等ともしっかりとコミュニケーションを図り、ニーズ把握・改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		ミーティング等、職員間で話し合い、改善につなげています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			<input type="radio"/>	第三者評価は行っていません。	必要に応じて、実施を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>		最低限必要な研修等は事業所内で実施しています。	事業所内研修や外部研修の充実を図り、学びの機会の確保、職員のスキルアップを目指します。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>		ガイドラインに基づき、支援プログラムを作成し、HPにて公表しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		<input type="radio"/>		日々の活動の様子なども含め、モニタリング時に保護者の方や子どもの意向を把握し、計画の作成をしています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		<input type="radio"/>		子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を職員間で検討しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		<input type="radio"/>			引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>		保護者の方には公式LINE、職員間では支援記録を日々作成しており、常に状況確認ができるようにしています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		<input type="radio"/>		ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者や学校等に関しても必要に応じて対応しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		<input type="radio"/>		職員間で子どもにとって必要な活動プログラム等を話し合いながら決めています。職員それぞれの個性を活かした活動の展開もしています。	引き続き、職員間で意見交換をしながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		前回の利用時の活動等も振り返りながら、飽きないよう楽しく取り組める工夫をしています。	活動内容がルーティン化することで安心して参加できる子どもについては、意図的に固定化を行うなど、子ども一人ひとりが楽しく活動できるように工夫をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本は少人数療育を中心に取り組んでいますが、子どもや保護者の方からの要望に沿って、個別・集団活動の目標設定をしています。	今後も子ども一人ひとりの状況に合わせて、計画を作成し、より良い支援をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングで当日の利用者の確認等を行っています。また、利用開始時間が異なる場合もあるので、受け入れ前に職員配置や注意事項等を共有しています。	今後も職員間でのコミュニケーションを図り、支援に活かしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後や送迎後に子どもの様子で気になったことなどがあった場合は内容等を共有しています。	今後も職員間でのコミュニケーションを図り、支援に活かしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子ども一人ひとりの支援目標に対してやその日の子どもの状態に着目して、どの職員が見ても様子が分かりやすいように記録することを心がけています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを行っています。	広く職員が参画できるよう、計画を立てて、モニタリングを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動 ①日常生活の充実と自立支援のための活動、②多様な遊びや体験活動、③地域交流の活動、④子どもが主体的に参画できる活動、のうち、主に①②④を組み合わせ活動に取り組んでいます。イベント開催時など、③を組み合わせ実施することもあります。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で、子ども自身が選択したり、子ども同士での話し合いの場を設けて、意思表示・決定ができるような機会を作っています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心にして参画しています。必要に応じて他の職員も参画できるように調整していきます。	「他を知る」ということも大切だと思いますので、会議等に広く職員を参画できるように案内の共有等をしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、相談支援事業所や他事業所、学校等と連携を図っています。	連携内容については、事業所内で共有を行います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者から共有いただくことが多いですが、必要に応じて学校との情報共有をしています。	内容については、事業所内で共有を行います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学にあたり、児童発達支援事業所との連携・情報共有は行っていますが、保育所等との連携は現段階でほとんどないです。	保護者からの要望等、必要に応じて連携を図ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者からの要望に応じて、適宜連携を図っております。	引き続き、必要に応じて連携を図ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現在はスーパーバイズ等は設けていません。	今後、必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在このような機会はほとんどありません。戸外活動時に地域の子どもたちと遊ぶことはあります。	今後、必要に応じて検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		現在、参加ができていない状況です。	今後、児童発達支援管理責任者を中心にして参加するように調整していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		当日中に公式LINEを通じて、活動内容等をお知らせするようにしています。また送迎時にも子どもの様子を伝えて情報共有をしています。	引き続き、丁寧にコミュニケーションを取れるよう努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家庭内での状況の聞き取りや相談へのアドバイス等、個別に対応しています。	必要に応じて、SNSでの情報発信等を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更時、また必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成時に聞き取りを行い、保護者や本人の要望や意向の確認を行っています。	今後も丁寧に要望や意向を確認しながら作成していきます。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談を行い、計画内容の説明・同意を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者と丁寧にコミュニケーションを取り、相談しやすい関係性の構築に努めています。状況によっては面談の機会を設けています。	引き続き、保護者とのより良い信頼関係が構築できるよう努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	以前は保護者会を実施していましたが、現在実施ができていない状況です。	今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口を設置し、契約時にも説明をしています。	相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用時の活動報告等は公式LINEで行っています。また、イベント告知などをInstagramで発信しています。	今後も情報発信の充実と周知に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報書類は鍵付きの書庫で管理しています。また、廃棄書類等はシュレッダーで処分しています。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いには十分に留意いたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な支援や筆談など、理解度に合わせた配慮を心がけています。保護者の方とは些細なコミュニケーションも取るように心がけています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	イベント等で地域のお店を利用するなどはありますが、事業所のイベントに地域住民を招待することはしていませんが、Instagramを通じて情報発信はしています。	地域に開かれた事業所運営について、できることを検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定してあります。避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練やその他の研修、マニュアルの共有等を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートや面談時に変化等がないか、確認をしています。	てんかん発作等について、一般的な対応方法を職員間で周知していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はありませんが、アレルギーの有無・内容についてはフェイスシートへの記入や面談時に確認しています。	今後、飲食のイベント等の参加・実施の際は、併せてアレルギーの有無を確認します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、計画に沿って研修や訓練を行っています。	引き続き、安全に留意し支援を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		熱中症やインフルエンザの注意喚起等、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示や公式LINE等で周知するようにしています。	引き続き、内容の周知を図ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ミーティングの中で共有・対応の検討をしています。	引き続き、安全に留意し支援を行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的な虐待防止研修を実施しています。	引き続き、研修を実施し、必要に応じて児童相談所や子ども家庭センター、その他の関係機関と連携を図ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		職員に対し、内容周知のための研修を行っています。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	